



連合会だより

2024年7月

99号

217 団体
79,268 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人 高橋 清人

町内会・自治会連合会総会で承認された役員を紹介します。



市連合会会長 高橋 清人

年初の能登半島地震でも、町内会自治会の役割が重要だと証明されました。加入率が減少傾向にありますが、会員にとって魅力のある活動を増やして、減少傾向に歯止めを掛けましょう。また地震や洪水のときに助け合える関係を作っておく必要があります。また災害時の情報伝達力強化、運営の効率化や若い人の加入促進のためにもデジタル化が急がれます。魅力ある町内会自治会に向かって頑張りましょう。



町田第二地区会長
会長代行 中 一登

「コロナ感染症」発生以来、人と人との繋がりが希薄になり、さらに IT 化は進み顔のみえない関係になってきた感じがしてきたのは私だけでしょうか？生活環境も大きく変わりつつあります。町内会・自治会としても変化に対応しなければならぬ課題もたくさんあります。出来ることから、取り組んでまいりたいと思いますので知恵を出し合ひましょう。



南地区会長
長谷川 義剛
副会長 (会計担当)

新型コロナウイルス感染症が 2 類から 5 類に分類移行され 1 年が経過し、対面での会議等徐々にコロナ前の活動が再開されて来ました。やはり、画面越しではなく、直接顔を見ながら「みんなのみなみ」の合言葉のもと、さらに安全・安心の住み良い魅力的な街づくりを目指して頑張りましょう。



高ヶ坂・成瀬地区会
鈴木 敏高
副会長 (庶務担当)

今年度より地区長に就任しました。よろしくお願ひします。当連合会における地域活性化事業として小学生から高齢者まで楽しめる恒例のソフトバレーボール大会が実施されます。今年度で 32 回目を迎え、更なる充実を図りたいと思ひます。地域の融和と活性化のため頑張る所存です。



町田第一地区会長
平本 勝哉
副会長 (総務担当)

町田第一地区は中心市街地の 9 町内会・自治会。JR・小田急線の町田駅のある繁華街、公民館や文学館・図書館・芹ヶ谷公園等があり、賑わいの商店街と好環境の住宅地です。また昼夜を問わず多くの来街者も訪れ、一度災害が起きれば大混乱が予想されます。地区の親睦・交流を図ると共に、防災対策の充実に努めます。



玉川学園・南大谷地区会長
田代 敏行
副会長 (広報担当)

玉川学園・南大谷地区連合会 (略称：玉南連) の代表に就任いたしました田代と申します。現在町田市として抱えている小中学校の統廃合の問題、境川の洪水対策、そして地域交通の在り方、これらの課題に対し努力してまいります。



木曽地区会長
金子 清勝
副会長 (会計担当)

IT や生成 AI とか人間離れの技術の進歩で生活環境が日増しに変化し、人と人との直接的触れ合いが無くても事が済む時代。「顔色を伺う」「目を見て話す」「会釈する」が死後に至るのも遠くないと危惧しています。そんな事にならぬように「生付き合い」を意識した地域コミュニティのツールとしてポッチャを推進し、地域活性化を図って参ります。



忠生地区会長
川畑 一隆
副会長 (総務担当)

新たに忠生スポーツ広場が設置され、新たな賑わいが増えています。より一層、安全で住みやすい活気ある地域づくりを目指しています。バイオエネルギーセンターの安全運転・環境保全を厳しく見守り、周辺のまちづくり、災害への備え、デジタル社会への対応等に取り組んでいます。



鶴川地区会長
仲村 清彦
副会長 (庶務担当)

鶴川地区は面積 2.2 km²、人口 10 万人町内会連合会の中でも一番広く人口も多い土地です。34 団体が加盟しております。道路などインフラ整備が遅れております。ハードウェアの整備の遅れた面をソフトウェアでカバーして仲良く楽しい住みやすい街を造って行きたいと思ひます。



小山地区会長
安達 廣美
副会長 (庶務担当)

令和 5 年 5 月コロナ禍も 2 類から 5 類へ移行され、これを機に街の中も一気に活性化され始めました。小山地区も各町内会・連合町内会による、各種イベントを 4 年ぶりに復活することになり、昼夜問わず準備に右往左往する毎日です。今年は新たな思い出が生まれることを目指し活動して参ります。



相原地区会長
渡代 真知子
副会長 (広報担当)

地区長 3 年目になります。相原地区は、都道と横浜線踏切のアンダーパス計画が進行する中、駅前の道路計画のために、商店の立ち退きが相次ぎスーパー、ファミレス、居酒屋が次々閉店し相原駅周辺が過疎化しています。相原地区の活性化に最大限努力していく所存です。

令和6年度定期総会開催

令和6年度の町田市町内会・自治会連合会(市連)の定期総会が町田市民フォーラム3階ホールにて5月19日(日)午後2時より開催されました。

高橋会長の挨拶の後、横山市民協働担当部長が石阪市長からの「共助の大切さを大切にしている事、町内会・自治会にデジタル化と『いちのいち』の活用、住んで良かった・住みたい街づくりを進めている事」などのメッセージを代読し、市議会議長、衆議院議員、都議会議員、市議会議員、商工会議所、社会福祉協議会、防犯協会、消防団など多くの来賓の方々から祝辞をいただきました。



<挨拶をする高橋会長>

市連加盟217団体のうち、出席者106団体、委任状102団体の計208団体をもって総会成立要件を満たしているとして、定期総会の開会が宣言されました。その後、鶴川地区の大川原議長、玉川学園・南大谷地区の田代書記が選出され、議案審議に入りました。

(第1号議案) 2023年度 事業成果報告

- 1 加入促進と事業運営の充実
- 2 広報活動の推進と地区連合会との情報の共有、相互の連携強化
- 3 会長研修会の充実と地域の課題を市政に反映
- 4 デジタル社会への対応
- 5 防災・防犯・交通対策の強化
- 6 エコ社会の啓発と活動の推進
- 7 明るい街づくりのための協力と推進

(第2号議案) 2022年度決算報告 同会計監査報告

(第3号議案) 2024年度事業計画(案)

- 1 加入促進と事業運営の充実

- 2 広報活動の推進と地区連合会との情報の共有、相互の連携強化
- 3 会長研修会の充実と地域の課題を市政に反映
- 4 デジタル社会への対応
- 5 防災・防犯・交通対策の強化
- 6 エコ社会の啓発と活動の推進
- 7 明るい街づくりのための協力と推進
- 8 その他連合会規約第3条の目的に合致する事業の推進を図る



<議長 団>

(第4号議案) 2024年度予算(案)

(第5号議案) 規約改正(案)

(第6号議案) 会長承認(案)

第1から第5号議案まで、それぞれ丁寧な議案の説明があり、活発な質疑応答の後、各議案とも賛成多数で可決採択されました。最後に第6号議案、市連会長として高橋清人会長が選任されました。

議長・書記解任後に、新役員の紹介があり、最後に、地域の発展、連合会の運営に貢献された方々に記念品を添えて感謝状・表彰状が贈呈され、今年の定期総会は閉会しました。



<挨拶をする新役員>

(編集委員 熊坂恵司)